愛知県岩倉市

社会資本総合整備計画　事後評価調書

# 住んでい～わといわれる快適な道路の整備（防災・安全）

## 計画概要

### ◆計画期間

平成24年度～平成28年度

### ◆計画の目標

本市は、濃尾平野のほぼ中央部に位置しており、標高は中心部で約10m、標高差は4mと地形は平坦で、面積10.47㎢とコンパクトな市域となっている。 また、大都市名古屋の北西10㎞圏の位置にあり、市内には名古屋市と犬山市を結ぶ名鉄犬山線が通り、名神・東名高速道路の小牧インターチェンジや一宮インターチェンジ、名古屋高速一宮線や小牧線の出入口からも至近な場所に立地しており、交通アクセスに優れた利便性の高いまちとなっている。しかしながら、岩倉駅東地区は住居や店舗が密集しており、道路幅員が狭く、緊急車両が進入できないなど、防災・防犯上の課題が多い。平成２１年までに駅前広場と再開発ビルが整備されたが、岩倉市の最大の魅力資源である五条川と市の玄関口である岩倉駅を相互につなぐ都市計画道路桜通線の整備は未着手となっている。当該路線は店舗や家屋が密集しており、整備完了までは多額の事業費が必要となり、事業の長期化が懸念される。このため、過年度に整備した駅前広場と、（主）春日井一宮線の区間を第一期整備区間として整備を進めていく。

その他岩倉市内での都市計画道路についても現況の整備率が61.9%（H21）と低いため、費用対効果や広域的なネットワークを勘案し、地元の意見を聞きながら事業効果の高いものから優先的に整備を進めていく。また、これらの幹線道路の整備効果を十分に発揮するために、接続する生活道路等の整備を進めていく。

岩倉市内の道路や橋梁は、高度成長期に大量に整備してきたため、近い将来、老朽化による更新が集中することが予想されている。道路や橋梁を根幹的な社会資本として維持保全していくために路面性状調査などを実施し、計画的な維持管理を目指す。

岩倉駅西広場並びにシンボルロードと呼ばれている市道新柳通線の歩道については既設舗装の凹凸が顕著であり、点字ブロックが未整備であるために障害者等の円滑な移動を妨げている。そのため、歩道部の段差解消や点字ブロックの設置などのバリアフリー化を進めることにより安全・快適に利用できる歩行空間整備を進めていく。

## 計画概要

### ◆計画の成果目標（定量的指標）

総合目標

道路網の整備（自動車）に満足している市民の割合を約72％に改善

個別目標

総合目標の達成に向け、以下の個別目標の達成を目指す

指標①：道路の広さに満足している市民の割合を約69％に改善

指標②：都市計画道路の整備率を約69％に改善

指標③：まわりの道路の舗装状況に満足している市民の割合を約88％に改善

指標④：歩行空間のバリアフリー化に満足している市民の割合を約31％に改善

指標⑤：計画的な維持修繕を行うための点検・計画を策定

## 評価内容

### ◆交付対象事業の進捗状況（平成28年度末時点）

| 交付対象事業 | 事業費※ | 事業の実施状況 | 進捗率※ |
|---|---|---|---|
| A （1）新柳通線外<br>A （他）北60号線外<br>A （都）桜通線<br>A 道路付属物点検・計画<br>A 道路のり面工等点検・計画 | 121百万円<br>31百万円<br>369百万円<br>19百万円<br>1百万円 | （1）新柳通線外や（他）北60号線外の舗装修繕については、修繕計画に基づき事業を実施している。また、（都）桜通線については、平成26年度より用地買収に着手している。さらに、道路付属物及び道路のり面工等については、点検を実施し計画の策定を行った。 | 34% |
| B 関連社会資本整備事業 | ― | | ― |
| C 効果促進事業 | 7百万円 | 舗装の点検を実施し、計画的な維持修繕を行うための計画の策定を実施した。 | 100% |
| 合　計 | 548百万円 | | |

※事業費は実績額
※進捗率（%）は各事業の計画に対する実施割合 【事業費ベース】

### ◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

**Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況 （別紙1）**

別紙1参照

## Ⅱ定量的指標の達成状況

総合目標（道路網の整備（自動車）に満足している市民の割合を約72％に改善）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 最終目標値 | 72% | 目標値と実績値に差が出た要因 | 都市計画道路を中心に広域的な道路ネットワークを形成する幹線道路の整備を計画的に進め、着実に進捗しているため、目標値を達成することができた。 |
| 最終実績値 | 72.5% | | |

個別目標　指標①（道路の広さに満足している市民の割合を約69％に改善）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 最終目標値 | 69% | 目標値と実績値に差が出た要因 | （都）北島藤島線が平成28年度に完成供用し、さらに(都)一宮春日井線や(都)岩倉西春線など、市の外周部の幹線道路の整備が進捗したことにより、目標値を達成することができた。 |
| 最終実績値 | 69.7% | | |

個別目標　指標②（都市計画道路の整備率を約69％に改善）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 最終目標値 | 69% | 目標値と実績値に差が出た要因 | (都)北島藤島線の事業が完了し、(都)岩倉西春線における天保橋が完成開通したことにより目標値を達成することができた。 |
| 最終実績値 | 74.6% | | |

個別目標　指標③（まわりの道路の舗装状況に満足している市民の割合を約88％に改善）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 最終目標値 | 88% | 目標値と実績値に差が出た要因 | 十分な予算措置が行えず、計画通りに舗装の維持・保全が行われていないことが原因と考えられる。 |
| 最終実績値 | 78.2% | | |

個別目標　指標④（歩行空間のバリアフリー化に満足している市民の割合を約31％に改善）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 最終目標値 | 31% | 目標値と実績値に差が出た要因 | 都市計画道路の整備を中心に歩道のバリアフリー化を実施した結果と考えられる。（子どもや高齢者にとって安全に徒歩や自転車で外出できるまちだと思う市民の割合に移行のため、H26実績値を最終実績値とする） |
| 最終実績値 | 32.7% | | |

個別目標　指標⑤（計画的な維持修繕を行うための点検・計画を策定）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 最終目標値 | 100% | 目標値と実績値に差が出た要因 | 喫緊な課題と位置付け、点検や計画策定を平成25年度までに完了し、当初計画よりも早期に達成することができた。 |
| 最終実績値 | 100.0% | | |

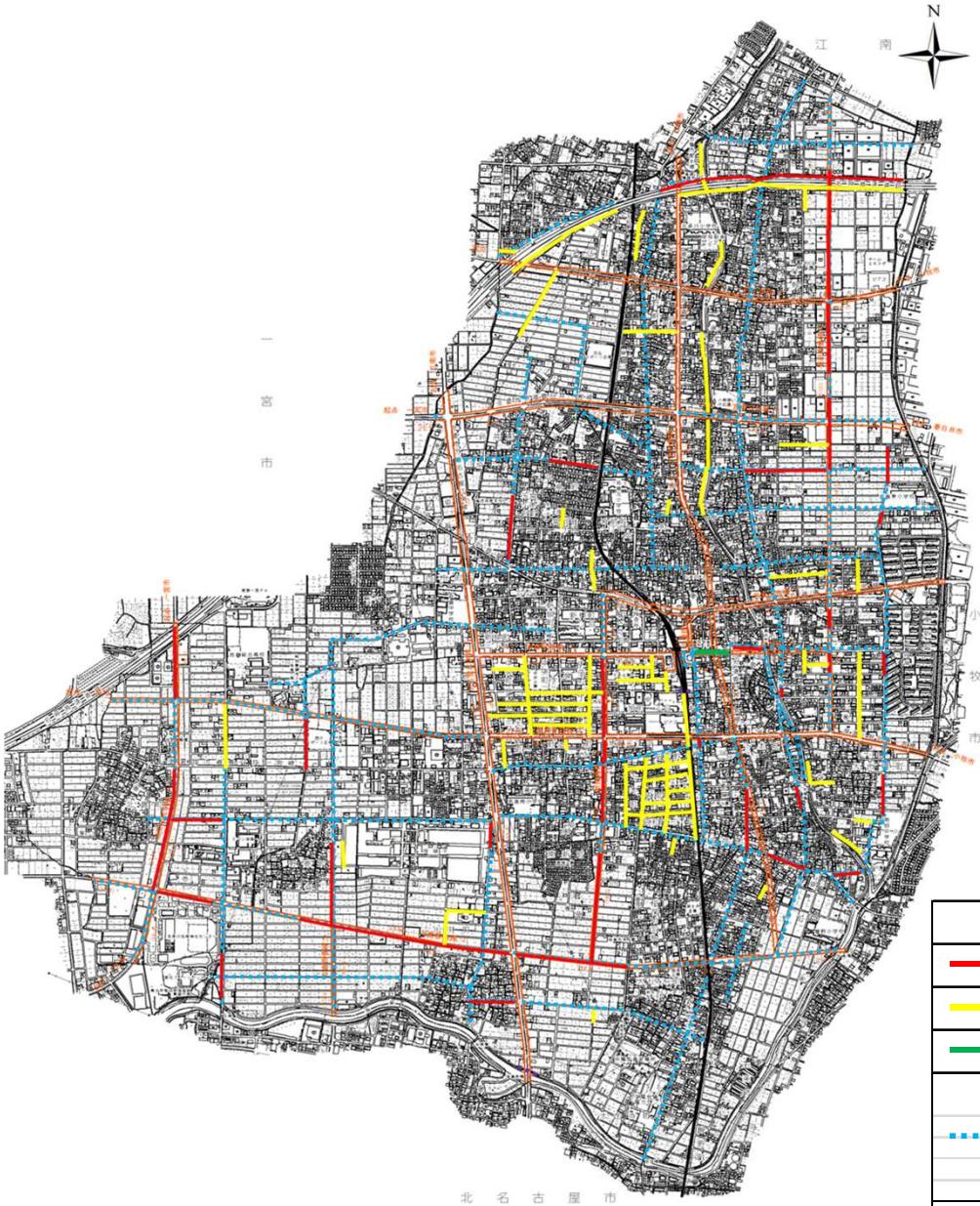
## ◆今後の方針

計画の目標を達成するために、引き続き、(1)新柳通線外及び(他)北60号線外の舗装修繕を計画的に実施していく。また、岩倉市の地域資源である五条川と市の玄関口である名鉄岩倉駅を結ぶ(都)桜通線の用地買収を計画的に進め早期完成供用を目指す。

## ◆事後評価の実施体制、実施時期

| | |
|---|---|
| 事後評価の実施体制 | 岩倉市建設部都市整備課 |
| 事後評価の実施時期 | 令和2年3月 |
| 公表の方法 | ホームページ |

# 参考図面




| 凡例 | 番号 | 事業種別 | 要素となる事業名（事業箇所） |
|---|---|---|---|
| | 46-A-1 | 地方道 | (1)新柳通線外 |
| | 46-A-2 | 地方道 | (他)北60号線外 |
| | 46-A-3 | 街路 | (都)桜通線 |
| | 46-A-4 | 地方道 | 道路付属物点検・計画 |
| | 46-A-6 | 地方道 | (1)新柳通線外 |
| | 46-C-1 | 計画・調査 | 舗装修繕計画 |
| | 46-A-5 | 地方道 | 道路のり面工等点検・計画 |
| | 46-A-7 | 地方道 | (他)南160号線外 |

# 事業効果の発現状況事例　別紙1-1

## 【基幹事業】

■事 業 名　（１）市 道 新 柳 通 線 外
■工事概要　道路改良工事
■事業箇所　岩倉市大地町
■事業主体　岩倉市
■事業効果　幹線道路の安全で円滑な交通の確保

施工前

施工後

# 事業効果の発現状況事例

別紙1-2

## 【基幹事業】

■事 業 名　（１）市 道 新 柳 通 線 外
■工事概要　舗装修繕
■事業箇所　岩倉市新柳町外
■事業主体　岩倉市
■事業効果　幹線道路の計画的な維持管理

施工前

施工後